

令和4年度第1回 北杜市ほくと子ども育成戦略会議 議事録

1. 会議名 令和4年度第1回 北杜市ほくと子ども育成戦略会議

2. 開催日時 令和4年6月7日（火） 午後2時00分～午後3時40分

3. 開催場所 明野総合支所 2階大会議室

4. 出席者

(1) 北杜市ほくと子ども育成戦略会議委員

安達義通委員、天野さやか委員、栗原正明委員、小林佳恵委員、玉山桃子委員、名取政義委員、呑田真人委員、葦澤ふみ子委員、溝口奈緒美委員、矢崎香織委員、矢崎憲恒委員、小池雅美委員

欠席者 飯田久美子委員、江間照夫委員、佐藤文昭委員、白倉繁委員、宮崎亮子委員、吉田百加利委員、森本貴代美委員

(2) 北杜市

企画部長、企画課長、子育て政策課長、子育て政策課総務企画担当、企画課計画担当

5. 会議次第

(1) 開会のことば

(2) 委員長あいさつ

(3) 議事

- ・提言の第3次北杜市総合計画への反映状況について
- ・子育て支援拠点整備について

(4) 閉会のことば

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 2人

8. 審議内容

(3) 議事

【委員長】

本日の議事録署名について、玉山委員、呑田委員、お願いします。

それでは、議事（1）提言の第3次北杜市総合計画への反映状況について、事務局から説明

をお願いします。

【事務局】

提言の第3次北杜市総合計画への反映状況について、資料に基づき説明。

【委員長】

皆さんのご意見が9割ほど反映されていることがご説明で分かったかと思います。提言の第3次北杜市総合計画への反映状況について、ご意見等ございましたらお願いします。なお、提言にない新たな意見、または、総合計画への意見については、ご遠慮ください。

【委員】

質問ではなくお願いになりますが、提言が反映されていてありがたいところですが、重みづけというか、正直全てに取り組めるかというところかなり難しいのではないかと考えていまして、総合計画の中に予算組みがあると思いますが、その予算がどこにかけられているか、例えば、1-1-2にはいくら予算がついているかを反映状況の表に予算と紐づけてまとめていただくと、どこに重みがあるかが見えてくるので、そういう整理をお願いします。

【事務局】

こちらの取組概要は大きな目標・施策になっていまして、一つだけの事業という括り付けにはなっていません。正確には、この事業はこの施策だけということではなく、いくつかの施策が集まって目標が達成されますので、予算を割り振る中で曖昧なところがでてきてしまいますが、例えば、今年度の主要事業の金額をこれらに割り振ることは可能です。

【委員】

そういう形で構わないです。取りまとめの中で複数のもののうちの一つが書かれているということもあると思うので、これとこれを合わせてこれくらいの金額だというものを書いてもらえると、市としてどこに力を込めているのかが分かるので、そういった記載をしていただきたい。今だと全部並列に見えるので、どこに力を入れているのかが見えるとありがたいです。

【企画部長】

補足になりますが、総合計画に基づいて今ある事業もすくいだしながら今後予算を計上していきますので、そういったものに力を入れていくことになります。現状の予算のデータがありますが、来年、再来年もプラスして計上していくものもあることをご理解いただきたい。現状では予算に無くても、総合計画で方向性が示されて今後新たに取り組んでいく事業もあると思います。それが現在予算的にはないので、反映できない部分があることをご理解いただきたい。

【委員】

現時点では、この委員会は去年、今年とやって、その中でこの予算をつけてこれをやりますということですね。来年以降の予算についてはまた別ということですね。

【企画部長】

そうです。

【委員】

それについては良いと思いますが、現時点で反映されている中で何にどれだけ予算がついているのか記載があると私としては見やすいですし、地域の人にどんな話をしたかと質問をされたときに、ここに重みがついています、と私が説明をしやすいのでそういう形で整理していた

だきたい。

【委員長】

今話があったとおり総合計画は2030年までの計画なので、これから予算がついていく可能性もあります。これは現時点でというだけで、これから重みが変わっていく可能性もあるので、そこは気を付けないといけないと思います。

【委員】

直近1、2年の話でいえば、ここに重みがついて、まずこれをやる、ということですね。

【企画部長】

そうです。

【委員長】

他にご意見、コメント、質問等ございますか。 (意見なし)

このように、皆さまのご意見が広く反映されたものができております。本当にありがとうございました。議事(1)については以上で区切りとしたいと思います。次に、議事(2)子育て支援拠点整備について、このことを議事に挙げた経緯などの説明を事務局からお願いします。

【事務局】

議事(2)子育て支援拠点整備について、資料に基づき説明。

【委員長】

今のご説明ですと、総合計画の策定にあたってニーズ調査があり、そこで要望があったことなどを理由として、子育て支援拠点整備について少子化対策、移住定住促進の観点からご意見をいただきたいということです。これに関してご質問、ご意見等ございますか。

【委員】

現状、市内にこれだけ公園がありますが、高根の公園などで草刈りや手入れが行き届いていない時期がありました。先日も子どもと行って、トイレまで向かう道が子どもの背丈ほどに草が伸びていたり、死角ができていたりして、やはり子どもだけで行かせるには怖いと思いました。これだけ公園の数がある中で、公共施設を減らして行って、床面積を減らすなんてこともあって、学校の削減、整備も進んでいますけれども、公園もその面積の中に入っていると思います。これ以上公園を増やすということですが、北杜市の予算は大丈夫でしょうか。既存のものをうまく使うという目線で考えたほうがよいでしょうか。最初のディスカッションになりますので、どのような視点で考えればよいかをある程度教えていただきたいと思います。

【委員長】

具体的な公園整備の内容や方向性については、後の議論にさせていただいても構わないですか。担当課から説明があると思いますので、その説明に対して今のようなご意見をいただければありがたいと思います。今回はこのようなテーマでいきます、ということについて何か疑問やご意見があればと思って伺ったところです。

【委員】

先ほどの委員さんはすごくオブラートに包んだ言い方だったと思います。直接的に言うと、公園はいらないのではないかという話だと思います。そもそも子ども育成戦略会議の建てつけは、移住者を増やしたいという話になっていたと思いますが、今年になって会議でする重要な

話が、なぜ公園整備の話なのか全然つながらないです。私も移住者ですが、どのような観点で移住をするかといったときに、保育環境が良いか、教育環境が良いかの2択だと思います。これは私個人の意見ではなくて、客観的なデータを見ても、例えば転出が多い東京の移住者のデータで転出者と転入者の数が逆転しているのは、小学校入学前の子どもたちを持っている家庭が移住しているのが多くなっています。北杜市のデータも、たしか私の記憶でいえば、小学校入学前の子どもたちの転入が多くなっていたはずですが。昨年の議論でも、保育環境やソフト面をより充実させたほうが良いとか、新しい教育の場があったほうが良いのではないかという議論がされたと思います。そういう議論を置いておいてなぜ公園の話だけがフォーカスされて議題にあがっているのか。さらに言うと、今日この場で議論がなされてこういう公園にしましょうということになると、市民の意見を取り入れた上で公園を作りましょう、という前提ができてしまうので、私は、これは承認できないと思っています。

もう一つ、いくら予算を積むつもりなのか教えていただきたい。例えば小淵沢保育園といずれみ保育園について、前市長と今回の市長で5億円ずつかけています。人口比率から見ても5億円をかけて保育園をつくるというのは不思議に思っていて、調べてみたら船橋市の人口比率よりも低いですが、倍ほどの費用をかけています。お金をかけるところはハード面ではなくソフト面だということを前回委員で話したつもりでしたが、その話を飛ばされたようで違和感が大きいです。5億円の費用で何ができるかという、給食費の話や安全対策、新しい教育など、いろいろできることがあるはずですが、なぜそれを置いておいて公園なのか聞きたいです。そうしないと、この後で議論をすることになって公園の話が先頭へいくことについて、私は納得感がないです。委員に説明をして承認をとってから議題に挙げていただきたいかった。

【委員長】

今の話は、昨年一年間議論をして様々な意見がありました、その中で優先順位の問題として、公園の話題で良いのか、なぜ公園なのかという質問だと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】

子育て施策の中で、確かに公園整備はその一つにすぎないと思いますが、移住定住促進、少子化対策についても、一つの施策として総合計画に挙げています。その中で先ほどお話にあったように、少子化対策、移住定住促進の観点からそもそも公園がいるかいないかということであれば、その点も含めてこの会議で様々な意見をいただきたいと思っています。今回の議題は、例えば、5億円かけてつくるにあたってどのような設備が必要ですか、という聞き方ではありません。総合計画にある子育て施策の中で、公園整備も施策の一つにありますので、その点について移住定住促進、少子化対策の観点からこの会議での意見をいただきたく、今回のテーマに挙げました。

【委員】

それは委員の皆さんは了承されていますか。先ほどの委員さんの意見を聞いても、他の委員さん2人に聞いても、なぜこの議題になったのか誰も知らないので正直納得していません。極端に言えば、移住定住促進には公園が必要だと言っているように聞こえます。オオムラサキセンターなどはとても良い公園だと思いますが、私たちはそれがあったから移住したわけではありません。公園の話がしたいからこの会議をつくったというようにしか聞こえないというくら

い、私としては違和感が大きいです。皆さんはいかがでしょう。

【委員長】

他の方は何かご意見ございますか。 (意見なし)

それでは、納得していただけるか分かりませんが、ニーズ調査についての説明をお願いします。ニーズがあるという話であれば、違った意見も出てくると思いますので。

【事務局】

公園や屋内遊び場ニーズ調査について、資料に基づき説明。

【委員長】

ありがとうございます。いくつかお聞きしたいことがあります。まず、令和2年度から令和6年度の第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画をつくられたということですが、そのときのアンケート調査は、令和元年ごろに実施したということでしょうか。

【事務局】

そうです。

【委員長】

令和元年にアンケートが実施され、子どもの遊び場の拡充を期待する意見が多かったということで検討を始められたということですね。総合計画の基本計画に位置付けられているということです。この会議において重点項目として挙げているというわけではなく、早めにこの計画が動き始めているので、他の計画は2030年までに徐々にやっていくが、こちらが先行して動きそうなのでその手伝いをしてほしいというイメージでよろしいですか。

【企画部長】

市ではこのアンケート以外にもそれ以前から直接親御さん方にご意見を伺ってしまして、非常に公園の要望が多くあります。市の施策として今後取り組んでいきたいという考えで、様々な意見を聞きながら進めていきたいということで今日の議題に挙げました。今お話しにありましたとおり、より優先度の高い、この会議として考えるべき事業もあるかもしれませんし、市としてもこれが一番ということではありませんが、現在事業を進めようとしている段階でありますのでご意見をいただきたい。

【委員】

アンケートは北杜市内の方にとられたものですか。移住を検討している方にアンケートをして、公園があれば移住するという根拠があって議題に挙げているのでしたらこの会議の範囲内だと思いますが、私たちは移住促進ということで集まっているので、公園の話と言われると違和感があります。例えば5億円をかけてつくるのであれば、公園検討委員会を別に作れば良いと思います。この会議で話すなら、その5億円を使って何をすればソフト面が充実するか、例えば、保育士が足りていなくて、様々な人から掛かってくる電話を聞いていることや、いじめ問題で亡くなっている人がいること、そこのサポートがどのようになっているかなど、北杜市としてあまり表に出ていないけれど重たい問題がたくさんあると思います。

【委員】

恐らく、この会議が集まっている最初の趣旨は、子どもの人口を増加させるということで、外からも人が来てほしいし、市内の人は転出しないしてほしいということだと思います。私は、

子ども子育て会議に会社の代表ではなくPTAという立場で出ていますが、その会議でも公園の話がよく出ていました。私は子どもを連れて行ったことはありませんでしたが、実際に子育て中のお母さん方が話に挙げていました。

【委員】

私も子育て中ですが、良い公園があったら良いと思いますし、行きます。でもこの会議で話すべきことですか。

【委員】

子育てしやすいから北杜市から転出しないということでは公園の話もありだと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

それを皆さんも了承していて、最優先の議題ということでしたら構わなくて、私も多数決に乗りますが、全く多数を取れる気がなくて私は全然納得できません。公園の優先度が高いという方がいれば、その方々で話していただければよいですし、私はその時間を使うのであれば、より喫緊の課題があると思うのでそれらについて話合いたいです。認められるのであれば、そのような話合いの進め方をしたい。

【委員】

この会議に皆さんが集まっているのは、移住定住促進につなげるというテーマであるにもかかわらず、市内の人の意見を基にしているから、先ほどの委員さんも違和感を持っているのだと思います。これがもしも移住をしたい人へのアンケートで、公園があれば移住するという意見が1位で出てきたのであればこの会議のテーマとして納得できます。ただ他の委員さんが言うように、北杜市からの転出を防ぐためと言われれば、それも汲まなければならないとは思いました。この会議のコンセプトと持ってきたテーマの理由づけがすれ違っているため、話が進まない状態になっているのだと思います。いくらニーズ調査の説明をされても全然話が入ってこないです。

【委員長】

地元の方も集まっていますし、移住定住促進は一つのテーマに過ぎません。この会議では、子育てをどのようにしていけばよいか、子どもの人口を増やすには何をすべきかを話していきます。移住定住はテーマの一つに過ぎません。

【委員】

一番優先順位が高いのは移住定住だと言われました。移住定住促進を達成するために何をするかや、移住定住促進をふまえて子育てがしやすい環境について考えると聞いています。もちろん市民へのアンケートにあったように、公園があったら嬉しいですし、良い公園が欲しいなと思います。ただ、忙しい中で皆さんが集まって、建てつけが全然つながっていないのに何を話せばよいのか私は全く分かりません。

【委員】

ここまでの意見を聞いて、私は、北杜市に住んでいる人を大事にするべきだろうと思いました。税金を長い間払ってきて、その積み重ねの予算がある中で、今、移住定住が最優先のテーマだと話していましたがけれども、私は、この会議では子どもを増やすということが主要な部分

であり、移住定住はその内の一つであって、北杜市にいる人たちの意見を大事にするということでしたら、この要望が50%に近いというのは非常に大きいことだと思います。北杜市にいる人たちが長く住んで、子育てには北杜市がとても良いという口コミが増えれば、移住定住にもつながると思います。私は、移住定住が最優先のテーマだとは全く思っていないです。ここでの共通理解は、子どもの人口を増やすということだと私は思いますので、そこの視点でいくべきだと思います。

【委員長】

他に何かございますか。

【委員】

総合計画に子育て・教育の地域ブランドを構築すると書いてありますが、その中に公園整備とか遊び場の拡充がもちろんあって良いのですが、そのブランドとはいったいどのようにしたいのかが分かりません。子育て・教育というからには教育についても話すべきだと思いますが、いかがですか。

【事務局】

今の私たちの想定として、要望的に多い0歳から小学校低学年くらいまでの範囲で、気軽に過ごせる場所をつくったらどうかと考えています。小さいお子さんを持った親が相談をできたり、親同士が気軽に集まって話ができたりするような形で子育てをしやすい施設、環境を作りたいと思っています。北杜ブランドをどのように仕掛けるかは戦略的な部分もあるとは思いますが、我々だけで考えていても限界がありますので、どのようなブランドにすれば評価が高まるかなど、忌憚のない意見をいただきたい。

【委員】

教育に携わる先生も集まっている中で、小さい子の話ばかりすることが気になります。私も移住者ですが、教育でブランドを作るとしたら、例えば、市長が甲陵中学・高校の取り組みを挙げていたと思いますが、そこで取り組んでよかったことを他の公立小中学校に導入するなど、より良い教育について話合えたら、小さい子だけでなく市内にいる小学校、中学校、高校の子どもたちにもプラスになって、教育のブランド力が強くなると思いますが、いかがですか。

【事務局】

今回小さい子だけというような言い方をしてしまったかもしれませんが、だからと言って今話にあったような小中学生、高校生を無視しているわけではありませんし、それはそれで議論が必要だと思います。ただ、それを一体的に全ての範囲で議論していくのはまた別で、今回の会議では、子育て支援拠点施設をどのように作ったらよいかというところで投げかけをさせていただいています。もちろん子育て全般について切れ目のない支援を行うことを考えていますが、子育て支援拠点施設にスポットを当てて、議論をしていただきたいという趣旨になります。

【委員長】

子どもにとって、公園も含めて子育て支援拠点施設があることは悪いことではないですね。ただ皆さんのご意見を伺っていると、他にも教育や保育など大事な問題があるという話ですね。とりあえず、これはこれで話合っていたくということではできませんか。

【委員】

子どもの人口を増やすために公園が一番の施策であるという人で集まって話していただければよいのですが、私はそれだと何を話していいかわからないので、違うテーマで話しをさせていただきたい。

【委員長】

一番だと思ってテーマに挙げているわけではないと思います。今これについて話してほしいというだけで、他にもいろいろある中でこちらが先行しているので意見をもらえないか、という経緯だと私は理解しています。

【委員】

別の会議体のテーマなのでは。公園整備委員会などがあればそこで話合ってもらえばよいと思いますが、子どもの人口を増やすという話で公園ですか。

【企画部長】

先ほどから移住がメインという話がありますが、この北杜市はくと子ども育成戦略会議という会議は、子育てに関する様々な課題やあらゆる場面を想定した取組みについて幅広い視点で検討を行うという前提の設置になっております。様々な施策がありますが、公園整備、屋内遊び場への市民からのニーズが非常に多くありまして、総合計画に位置付けられている事業の一つとして本日会議のお願いをしたところで、ご意見をいただければと考えております。

【委員長】

移住者の立場からも公園についてご意見をいただければありがたい。それも一つ重要な点ですので、いろいろと知恵をくださると良い公園ができるのではないかと思います。市としては、今年度は子育て支援拠点施設について議論をしてご意見をいただきたいということですので、移住の観点からでもいいですし、少子化対策の観点からでもいいですし、議論をしていただければという方は入口側のテーブルで話をさせていただいて、そこにあまり興味がないという方はまた別のテーブルで、ということを進めたいと思います。

【委員】

ワークショップにて課題の抽出

【委員長】

それでは、どのような意見が出たか発表していただけますか。

【委員（B班）】

B班で出た既存の公園の課題は、3つの項目になっています。まず立地条件について、今回の資料に載っている地図には主な公園として8つありますが、私自身が行ったことのある公園を含めると全部で16か所ほどありまして、全部にトイレもありますし、場所によっては遊具もあります。立地で見ますと小淵沢と長坂に公園が少なく、そのエリアに住む人はあまり行く公園がないのではないかと課題があります。北杜市が広すぎるということも一つあるとは思いますが。設備に関して、大型遊具がない、小学生以上が楽しく遊べる施設がないという意見がありました。また、小学生未満と小学生以上とではニーズが少し違って、小学生になればキャッチボールなどができる広場が必要になります。一方で小学生未満は、親が見ていて安全なところで1人で遊ばせられる年齢であれば、遊具が必要になります。そのニーズに合わせた公園の振り分けをしたり、どちらかに特化したりして設備を作れば良いと思います。最

後に情報発信について、「北杜市公園」などと調べて行くことが考えられます。現状、北杜市のホームページに載っている公園は8か所ありますが、ホームページは文字ばかりで知りたい情報が載っていないという意見がありました。何があつて、どのような景色が見られるのかという情報が我々の求めているところであり、公園に行くきっかけになると思います。関連して、北杜市は自然が周りにあるからこそ、公園のシーソーに乗ったときに山が見える向きに設置して他の公園との差別化をしたり、とても景色の良い公園であるという情報発信をしたりする必要があるという意見が出ました。あとは、道が整備されていない、安全面をもう少し整える必要があるという意見がありました。最後に、イベント開催などで活用をすれば公園に集うきっかけをつくることができるのではないかと考えました。

【委員（D班）】

D班では、大きく2つに意見が分かれました。一つは、アンケートに対する疑問点や、どうしても公園が必要なのかという意見です。もう一つは今回のテーマに近いところで、三つの意見がありました。公園整備が必要な場合であれば、まずは安心安全であり、死角がないこと。また、子どもを遊ばせるわけですから、きれいであることや、使いやすいこと。木でできているベンチはさびれているものを見かけるので、それらをきれいにすべきです。次に、子育て支援拠点施設という視点でつくるのであれば、公園ではなく様々な相談ができる場や親同士が交流できる場所をつくるべきではないかという意見が出ました。遊び場の充実という面ではなく、高齢者から子どもまで多くの世代が利用できる施設の整備が必要ではないかという意見がありました。一方でアンケートに対する疑問として、ニーズ調査の内容が公園に関するものになっているため、イコール公園を増やす材料になっていないのではないかという意見がありました。どれだけの予算をかけるかによってアンケートの回答も変わってくるのではないかという意見もあります。また、市長の公約にある10年後に子どもの数を2倍に増やすためには移住者を増やすことが必須だと認識をしていますが、そのためには移住者へのアンケートを実施すべきではないですか。個別の公園への意見になりますが、のろしの里ふれあい公園は、使われているシーンがほとんどないということです。利用頻度について、未満児からの入園率が高く、利用は週末が多くなると考えられるので、市外の公園へ出かければ十分ではないかということです。市内にある民間施設の活用について、例えば市民が安く利用できるように補助をするというのはいかがでしょうか。新設の公園の必要性について、遊具のある公園はないよりはあったほうが良いが、北杜市でつくることが良いとは思えない、北杜市の魅力は他にあるのではないかという意見がありました。公共施設は減らす方向で、既存の公園の整備を優先すべきだという意見も出ました。また、既存の公園でメンテナンスが必要な公園を洗い出し、リニューアルするか、なくすか等を検討して質の高い公園に絞ってはどうかということです。お金をかけるのであれば、既存の公園や、つどいの広場、児童館などの施設におけるサービスの拡充をすればよいという意見がありました。最後に、公園整備も大事な課題ですが、公共施設の検討委員会もありますのでそちらの検討事項でも良いのではないかという意見が出ました。

【委員長】

ありがとうございます。それ以外のテーマについて話し合ったグループはいかがでしょうか。

【委員】

保育とか教育とかいろいろ話しましたが、保育士の待遇が良くないために、保育士が足りていない状況があったりするので、一人の保育士さんに対する園児の数が多くなっていたり、預ける側も安心できない部分があったり、また、学校の先生も忙しいということがあるので、そういうところの改善がされれば良いのではないかという話をしました。

【委員】

保育士の立場から考えても、どこの優先順位が一番高いのかというと難しいところがあります。確かに保育の話を挙げてもらうことも大切ですしありがたいという部分もありますが、保育する場として環境が良い場所となると、やはり公園の話が出たり、公園ばかりではないですが、先ほど話に出たように、北杜市の魅力は別にあるのではないかとされたときに、北杜市は自然が豊かであるというところを意識しながら保育をしているつもりなので、そこにつながる話も検討事項としてあるかなと思いつながりながら様々な話をしました。

【委員長】

ありがとうございます。今年度の会議は2回だけということですので、次回は今回抽出した課題を解決するための提案を出していただきます。

ここで、意見提出方法、提出期限について、事務局から連絡をお願いします。

【事務局】

意見提出方法、提出期限について説明。

次回の会議は、6月28日（火）午後2時から、本庁舎3階大会議室にて開催いたします。

終了